

Series 52/SX コンパクトデジタルコンソール



RM2200Dで培った、直感的なコンソールが、52シリーズのカスタマイズ性能を取り入れ、新たに52シリーズのラインナップに加われました。シンプルな操作面は更に使いやすく、新設計のCoreは運用スタイルに合わせてカスタマイズが可能です。1U-halfサイズのコンパクトな本体は、実装場所を選びません。



4フェーダー



8フェーダー



12フェーダー



16フェーダー

52/SXの操作面は、4フェーダーから最大16フェーダーまでを運用に合わせて選択することができます。モジュール化されたフェーダーは、ミキサーテーブルのレイアウトにあわせ、それぞれのモジュールを分割してレイアウトすることも可能です。



テーブル埋め込み型の操作面は、フラット実装と、傾斜を付けた2種類の実装スタイルが選択できます。



<52-1020>



W160/D399

<52-1024>



W80/D399

<52-4017A>



- ◆ 52-1020
フェーダーモジュール
- ◆ 52-1024
セントラルモジュール
- ◆ 52-4017A
タッチディスプレイ

52/SXは新設計の1U-halfサイズのCore(DSP)と、同じく1U-halfサイズのMulti-I/O BOXから構成されます。生放送スタジオ、録音スタジオ、編集スタジオでの使用以外にも、コンパクトな本体を生かしサテライトスタジオ、中継車などの設置スペースが限られたシステムにも最適です。

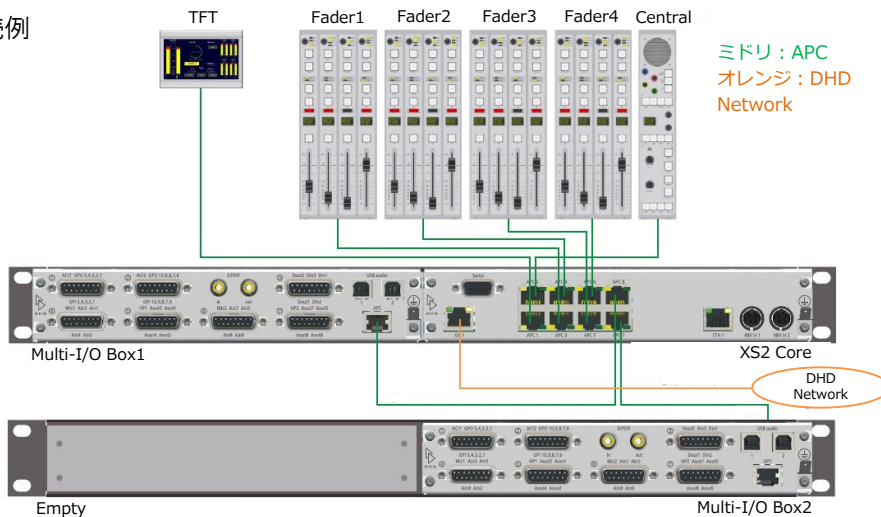


フロントパネル



リアパネル

◆ 接続例



XS Coreと各パネルはAPC(LANケーブル)だけで続されるので、ミキサーの設置の時間を大幅に削減でき、導入後の保守も容易に行えます。

◆ XS Core

- DSPシステムのため、PCを必要としません
- 3バンドイコライザー、サブソニックフィルター、ダイナミクス、リミッター、ディレイ(16フェーダー分)
- 32サミングバス、Auxバス、クリーンフィード(N-1)バス(最大6ch)、PFLバス、モニターバス(4ch)
- 電源を搭載していないので、XS Core本体はFANを必要とする熱を発生しません(外部電源 48V)
- 2重化電源対応
- 90V~264V対応 (Energy Star 5.0準拠)
- カスタマイズ可能な、トークバックシステム搭載
- インプット/アウトプット ルーター搭載
- オンレーター搭載
- DHD APCネットワークポート搭載 (各モジュール、Multi-I/O Box、タッチディスプレイを接続します)
- DHD Gigabit Audio Network対応 (LANケーブル1本で、最大512 I/Oの送受信に対応)
- 外部同期対応 (48kHz or 44.1kHz)
- コンフィグレーション用ネットワークポート搭載
- シリアル制御ポート搭載

◆ XS Multi-I/O Box

※ システム構成に合わせて、最大2台まで接続が可能です。

Mic IN	2ch (最大 4ch)	-77...+18dBu
Analog IN	8ch (最大16ch)	Max.+24dBu モノラル換算
Digital IN AES/EBU	3ch (最大 6ch)	SRC搭載 ステレオ(32kHz~192kHz)
Digital IN S/PDIF	1ch (最大 2ch)	SRC搭載 ステレオ(32kHz~192kHz)
Digital IN USB	2ch (最大 4ch)	SRC搭載 ステレオ(32kHz~192kHz)
Headphone OUT	2ch (最大 4ch)	ステレオ
Analog OUT	8ch (最大16ch)	Max.+24dBu モノラル換算
Digital OUT AES/EBU	2ch (最大 4ch)	ステレオ
Digital OUT S/PDIF	1ch (最大 2ch)	ステレオ
Digital OUT USB	2ch (最大 4ch)	ステレオ
GPI/O	10 in/out	フォトカプラー入力/フォトカプラー出力
Analog Control	2 in (最大4in)	外付けVR用
MADI I/O	64 in/out	AES10フォーマット
Gigabit Audio Network	512 in/out	DHDフォーマット

- Talkback Mic ミキサーに内蔵
- PFL/Talkbackスピーカー ミキサーに内蔵

※ Gigabit Audio Networkの構築により、他のXS CoreやDHD製品と素材の共有が可能です。
 ※ Digital USBポートは、パソコンと直接接続できるので、DAW(PCベース)と素材の受渡しに使用したりパソコンに直接収録をしたりと、様々な用途で使用可能です。